

保存期限

十年

決裁指定

次官

決行指定

政務次官 回付 決裁(前)連帶
參與官 後(課)名

決行(決裁)後
回覽(課)名

受領
番號

陸軍受第九四四三号

起元(臨)課(名)

南方軍總司令部

件名

停虜ノ勞役取締規則ニ関スル件

大臣委

政務
次官

參與官

書記官

審案
筆記者

次官



高級
副官



主務副官
官房御用掛



主務
局長



主務
課長



主務課員



主務局

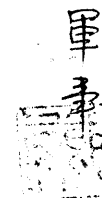
受領番號
停管案第四号三五

局長

受領
昭和十七年十月廿六日

連帶

局長



大臣官房

受領
昭和十七年十月廿六日

了結
昭和十七年十月廿六日

決行(決裁)後
回覽

局長

課長

陸軍

陸軍省

大臣ヨリ南方軍總司令官へ指令案

昭和十七年九月二十五日附南總参二密第一二七号、申

請、通認可ス

陸軍省第三八五七號

昭和十七年拾月七日



極秘

南總參密第一三號

九月四日

泰伴虜收容所外勞役取締規則ニ關スル件申請

昭和十七年九月三日南方軍總司令官伯爵寺内

陸軍大臣東條英機殿

首題ノ件ニ關シ別冊ノ如ク定メ度キニ付認可

相成度申請ス

陸軍省 17.9.30 前大臣 陸軍省

陸軍省 南方軍總司令部

陸軍省 17.10.1 第 號 陸軍管理部

0084

極秘

泰俘虜收容所外勞役取締規則案

昭和十七年八月十五日
南方軍總司令部

俘虜收容所外勞役取締規則案

第一 本規則ハ俘虜收容所外ニ於テ俘虜ヲ勞役ニ就カシムル場合ノ取締ニ關シ所要ノ事項ヲ定ム

第二 俘虜收容所外ニ於ケル俘虜ノ警戒取締ハ收容所警備隊ヲ以テスルモ部隊ニ於テ俘虜ヲ使用スル場合ニハ使用部隊ハ之ニ對シ所要ノ援助ヲ與フルモノトス
 所長ハ所在地軍隊特ニ憲兵隊及地方警察ト

警戒取締ニ關シ密ニ連絡スルモノトス

第三 外部ノ勞役ニ從事スル俘虜ハ勞務ニ應

ジ作業隊ヲ編成シ先任俘虜ヲシテ之ガ指導

ニ當ラシムルモノトス 如何ナル場合ト雖

モ警備員ヲ附セズシテ俘虜ヲ行動セシメザ

ルモノトス 又俘虜ハ他ノ勞働者ト混同シ

使用セザルモノトス

第四 俘虜ハ收容所ニ往復及作業間警備員ノ

許可ナク隊列ヲ離ルルヲ許サズ

又地方民ニ接觸シ談話物品ノ購入等ヲナス

コトヲ禁ズ

第五 收容所ト作業場トノ往復及作業間ハ概

ネ俘虜三十名(狀況ニヨリ五十名)ニ付少クモ

一名ノ警備員ヲ附スルト共ニ作業間ハ時々

巡察ヲ派遣シ逃走ノ豫防、防謀、勤惰等ノ

監視ニ任ゼシムルモトス

夜間又ハ山林内等監視困難ナル場合ニ於テ

ハ特ニ警備_戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第六 擧動不審ナル俘虜ヲ發見シタル時ハ直
チニ收容所ニ歸還セシメ所要ノ處置ヲ講ジ
若シ俘虜ニシテ暴行ヲ企テ若クハ逃走ヲ圖
リタル時ハ警備員ハ極力之ヲ防止シ止ムヲ
得ザル場合ハ兵器ヲ使用シ殺傷スルコトヲ
得 此ノ場合ハ速カニ所長ニ報告シ要スレ
バ最寄部隊ニ急報シ所要ノ兵力支援ヲ要求
スルコトヲ得

第七 收容所外ノ勞役ニ從事スル俘虜ハ其ノ

人名、人員、携行品等ヲ明カナラシメ收容所ノ出入ニ際シ嚴密ニ之ヲ點檢スルモノトス

第八 工業、建築、醫術等特種ノ技能ヲ有スル俘虜ハ總司令官ノ認可ヲ受ケタル上收容所外ニ宿泊シテ使役セシムルコトヲ得

第九 收容所長ハ本規則ニ基キ細部ヲ定ムルコトヲ得